

令和3年度あま市地域包括支援センター事業経過

I あま市地域包括支援センター(直営)事業経過

1 指定介護予防支援事業

本事業は平成30年4月よりあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(以下「社協包括」という。)に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

2 介護予防ケアマネジメント事業

本事業は平成30年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

3 包括的継続的ケアマネジメント事業

本事業は平成30年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

4 総合相談支援事業

(1) 相談業務

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援する。あま市地域包括支援センター(以下「直営包括」という。)と社協包括とで連携・協力して実施している。

本事業は平成30年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

あま市地域包括支援センター(直営) 実績

令和4年2月末現在

年度	電話	来所	訪問	その他	合計
令和元年度	749 件	201 件	143 件	409 件	1,502 件
令和2年度	835 件	189 件	204 件	144 件	1,372 件

※令和3年度よりその他の項目を細分化した。

年度	電話	来所	訪問	報告	調整	その他	合計
令和3年度	797 件	166 件	272 件	333 件	80 件	32 件	1,680 件

◎新規相談者(実件数:292件)内訳

令和4年2月末現在

	相談者	件数	構成割合
1	本人	83 件	28.4 %
2	家族・親族	62 件	21.2 %
3	社会福祉協議会等	26 件	8.9 %
4	行政機関	19 件	6.5 %
5	民生委員・児童委員	17 件	5.8 %
6	知人・友人	12 件	4.1 %
7	医療機関	8 件	2.7 %
8	見守り協定の事業所	8 件	2.7 %
9	警察	7 件	2.4 %
10	ケアマネジャー	7 件	2.4 %
11	関係委員	3 件	1.0 %
12	介護保険事業所	1 件	0.3 %
13	その他	39 件	13.4 %
	合計	292 件	100.0 %

◎新規相談対応状況内訳（複数回答）

令和4年2月末現在

	相談内容	件数	構成割合
1	状況確認	215 件	58.3 %
2	介護関連説明・紹介	51 件	13.8 %
3	認知症支援	35 件	9.5 %
4	行政サービス・制度の活用	16 件	4.3 %
5	独居生活支援	13 件	3.5 %
6	医療関係説明・紹介	9 件	2.4 %
7	地域資源の活用	7 件	1.9 %
8	苦情	4 件	1.1 %
9	権利擁護・成年後見	3 件	0.8 %
10	支援困難	2 件	0.5 %
11	その他	14 件	3.8 %
合計		369 件	100.0 %

(2) ひとり暮らし高齢者等の実態把握

- ・ 訪問対象者：65歳以上のひとり暮らしの方及び65歳以上のみの世帯の方
- ・ 民生委員・児童委員に依頼し、担当地区対象者の戸別訪問を実施
- ・ 実態把握にて収集した情報については、システムにてデータ登録し保管（緊急時における関係機関への情報提供の同意を得ている）

実態把握対象者（前年度3月1日時点で対象者を抽出）

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		人数等 H31.3.1現在	人数等 R2.3.1現在	人数等 R3.3.1現在
あま市総人口		88,820 人	89,146 人	89,108 人
高齢者	65歳以上	23,212 人	23,192 人	23,176 人
	75歳以上	11,399 人	11,895 人	12,129 人
高齢化率		26.1 %	26.0 %	26.0 %
訪問対象登録者		10,806 人	10,337 人	10,968 人
ひとり暮らし高齢者（再掲）		3,148 人	2,877 人	3,128 人

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訪問を中止する時期があったため、例年より訪問期間を延ばした。民生委員・児童委員には、ご自身の健康にも配慮していただき、無理のない範囲でご協力いただいた。
- ・ 民生委員・児童委員の訪問後、連絡がとれない対象者211名に対して、通知を行い、123名から連絡があった。その際に、次年度の高齢者状況確認について説明するとともにふれあいカフェ等の案内をした。
- ・ 高齢福祉課で作成している安心カード（緊急連絡先やかかりつけ医、必要な対応方法などを記入し財布等に入れて持ち歩けるようにしたもの）を高齢者状況調査時に配布していただくよう、民生委員・児童委員にご協力いただいた。

5 権利擁護事業

(1) 高齢者虐待への対応

令和4年2月末現在

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談・通報	34 件	22 件	31 件
虐待として判断	9 件	6 件	1 件
虐待者からの分離	0 件	4 件	1 件

(2) 成年後見制度の活用

令和4年2月末現在

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
本人申立ての支援	0 件	0 件	0 件
親族申立ての支援	0 件	0 件	0 件
市長申立て	2 件	0 件	1 件

(3) 成年後見制度利用支援事業の実績

成年後見制度利用支援事業とは要支援者等の財産状況から「審判請求費用」や「後見人等報酬費用」を負担することが困難な場合、これらの費用を助成することで、要支援者の権利を擁護し、安定した日常生活の実現を図ることを目的としている。

令和3年度、成年後見制度の中核機関として、あま市権利擁護センターが発足し、あま市成年後見制度利用支援事業実施要綱の改正が行われ、高齢者における後見人等報酬費用助成の新規実績が3件となった。

令和4年2月末現在

助成区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
審判請求費用		0件	0件	0件
後見人等報酬費用	新規	0件	0件	3件
	継続	0件	0件	0件

6 地域包括ケアシステム推進事業

高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した暮らしを続けることができるように「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」が一体的に提供される仕組みを推進する。

(1) 多職種連携を目的としたあま市地域ケア会議

医療関係者、介護職関係者、民生委員・児童委員及び老人クラブ代表者といった地域の支援者等による、多職種間の連携を深めることを目的とした会議を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年に比べ参加人数を制限して実施した。

日 程	内 容	場 所
8月25日	事例検討「認知症のある妻とその夫の二人暮らし世帯の支援について」	甚目寺公民館

<参加者内訳>

職 種 等	人 数
民生委員・児童委員	3 人
老人クラブ	3 人
居宅介護支援事業所	2 人
通所介護事業所	3 人
訪問介護事業所	2 人
シルバー人材センター	1 人
社会福祉協議会	3 人
生活支援コーディネーター	3 人
認知症地域支援推進員	1 人
地域包括支援センター	4 人
行政職員	2 人
合 計	27 人

日 程	内 容	場 所
1月13日	事例検討「在宅医療が必要な独り暮らし高齢者の支援について」	甚目寺公民館

<参加者内訳>

職 種 等	人 数
医師	3 人
歯科医師	3 人
薬剤師	3 人
病院相談員	2 人
民生委員・児童委員	3 人
老人クラブ	3 人
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター	1 人
居宅介護支援事業所	8 人
訪問介護事業所	1 人
訪問看護事業所	1 人
社会福祉協議会	1 人
生活支援コーディネーター	2 人
認知症地域支援推進員	2 人
地域包括支援センター	3 人
行政職員	2 人
合 計	38 人

(2) 庁舎内連携

11月26日、第2次あま市地域福祉計画関係部局調整会議において、各課の計画内における地域包括ケアシステムの推進状況を確認した。

出席した課：企画政策課、人権推進課、安全安心課、健康推進課、社会福祉課、高齢福祉課
子育て支援課、都市計画課、学校教育課、生涯学習課

(3) 地域包括ケアシステム講演会

高齢者の誰もが健やかに住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域包括ケアシステムの深化推進に取り組む中で、今年度は介護施設での利用者の生活、施設と家族や地域との繋がり、医療との連携などについて講演会を実施した。

日程	内容	場所	参加人数
10月26日	講演会：「地域の中の施設の役割～住み慣れた地域で最後まで暮らす～」 講師：社会福祉法人 嘉祥福社会 特別養護老人ホーム 第Ⅱあま恵寿荘 施設長 加藤 美由紀 氏	美和文化会館 多目的ホール	108 人

7 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供できるよう体制の構築を推進する。

(1) ICTを活用した医療・介護（多職種連携）

あま市では、ICTを活用した医療・介護連携を推進するため、名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センターが開発した「電子@連絡帳」【つながるまい”あま”】を導入し在宅医療・介護の連携体制を構築している。

〈運用後の事業所登録実績〉

令和4年2月末現在

事業所種別		件数
1	居宅介護支援	23 件
2	クリニック	15 件
3	薬局	10 件
4	通所介護	10 件
5	歯科	9 件
6	訪問看護	8 件
7	訪問介護	7 件
8	福祉用具	5 件
9	病院	3 件
10	グループホーム	3 件
11	地域包括支援	2 件
12	通所リハ	1 件
13	老人保健施設	1 件
14	小規模多機能型居宅介護	1 件
15	その他	1 件
合 計		99 件

(2) 心をつなぐノート（エンディングノート）周知・配布

最期まで自分らしい人生を送ることについて考えるきっかけとなるノート（エンディングノート）を配布し、周知した。

○目 的：本人がノートを活用し、自分の意向や希望を整理し、医療・福祉の関係者や身近な方に伝えることを目的としている。

A C P（人生会議）や成年後見制度についても検討できる内容となっている。

○周知方法：あま市公式ウェブサイト、LINEなど

○啓発場所：キャラバンメイト連絡会、居宅介護支援事業所交流会、サービス事業者連絡会

○配布場所：高齢福祉課、直営包括、社協包括

○作 成：海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）

○配 布 数：300冊

8 生活支援体制整備事業

地域全体で高齢者の生活を支える体制整備を行うため、ボランティア等を担い手とした生活支援サービスの開発、サービス提供主体間のネットワークの構築等を行う。

(1) 生活支援体制整備推進に係る助言者派遣事業

生活支援体制整備事業の整備・発展を効果的に進めるため、実情にあった適切な助言者による意見交換等を行う。

日程	内容	場所	参加人数
8月19日	<ul style="list-style-type: none">・第2層協議体の業務体制や、各地区協議体及び生活支援コーディネーター同士の交流について・第2層協議体の活動内容について・地域のニーズと地域資源を結びつけた事例について・具体的な生活支援コーディネーターの活動内容について・第1層協議体、第1層研究会の構成員や活動内容及び第1層と第2層の連携について	甚目寺庁舎 2階 第1会議室	犬山市助言者2名 直営包括職員5名 生活支援コーディネーター5名

(2) 協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場。

第1層 (あま市全域)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止とした。

第2層 (七宝地区・美和地区・甚目寺地区)

本業務は平成31年4月より社協包括に委託しているため、詳細についてはあま市社会福祉協議会地域包括支援センター(委託)事業実績を参照。

直営包括職員と直営包括に在籍する認知症地域支援推進員は、関係機関として各協議体に毎回参加した。

9 認知症施策の推進

(1) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になってもできる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に複数の専門職で構成されたチーム員が早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行い、自立した生活をサポートする。

平成27年10月より医療法人 宝会 七宝病院に事業委託を行っている。

<支援対象者>

原則として40歳以上で在宅で生活しており、かつ、認知症が疑われる人または認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ① 医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
 - ・ 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - ・ 継続的な医療サービスを受けていない人
 - ・ 適切な介護サービスに結び付いていない人
 - ・ 介護サービスが中断している人
- ② 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

<チーム員>

認知症サポート医1名、社会福祉士1名、保健師1名、精神保健福祉士1名、公認心理師1名
事業の委託先の医療法人 宝会 七宝病院に設置

<活動実績>

令和4年2月末現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
初回訪問件数	2件	1件	3件	1件	1件	1件	1件	0件	2件	0件	1件	13件
チーム員会議での 検討ケース (モニタ報告含む)	7件	3件	-	10件	3件	-	3件	8件	2件	4件	-	40件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議を中止とした月あり。その月に検討できなかったケースは翌月の会議で検討。

※初回訪問の内訳

・性別、年齢状況

年齢	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
男性	0人	0人	1人	4人	2人	1人	8人
女性	0人	1人	0人	1人	3人	0人	5人

・世帯状況

独居	夫婦のみ	その他	合計
3人	4人	6人	13人

・把握経緯

本人	家族	包括	推進員	ケアマネ	医療機関	その他	合計
0人	0人	8人	5人	0人	0人	0人	13人

・支援状況

支援対象者		人数	詳細
専門医に つながった人	認知症の診断がついた人	5人	アルツハイマー型、混合型
	認知症以外の診断がついた人	5人	発達障害、水頭症、高次脳機能障害
介護サービスにつながった人		5人	通所介護、訪問介護など

※訪問支援対象者には、地域資源のいきいきサロンやふれあいカフェなどの情報を提供し、参加につなげている。

(2) 認知症地域支援推進員の活動

地域の医療や介護の関係機関、支援機関などとの連携や認知症の人及びその家族を支援する体制づくりを担っている。

●認知症地域支援推進員 在籍数・・・直営包括に6名（直営包括業務と兼任）

●活動実績

- ・窓口や電話等で認知症に関する相談を受け、必要に応じて初期集中支援チームにつなげた。
- ・シニアいきいきアンケートより抽出された対象者の状況確認を実施し、必要に応じて初期集中支援チームにつなげた。
- ・ふれあいカフェの運営をするとともに、カフェ運営者への助言・指導を行った。
- ・ふれあいカフェ参加者に対して、相談支援を行った。
- ・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイト連絡会、地域ケア会議、認知症講演会及び各地区協議体などへ参加した。
- ・ふれあいケアパス（認知症ケアパス）の内容の見直しを行い、改訂版を作成した。また、民生児童委員定例会、キャラバンメイト連絡会、認知症サポーター養成講座、サービス事業者連絡会、居宅介護支援事業所交流会にて説明し配布した。

シニアいきいきアンケートから対象者を抽出し状況確認を実施

実施方法	実施人数
訪問（不在）	49人(6人)
電話	12人
その他	6人
合計	67人

地域包括支援センターにおける新規相談のうち認知症地域支援推進員が対応したケース

実施方法	実施人数
訪問	84人
電話	82人
来所	35人
その他	11人
合計	212人

(3) ふれあいカフェ（認知症カフェ）

認知症の方とその家族、地域住民の方などが集い、情報交換、レクリエーションなどをして楽しい時間を過ごす通いの場。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした回もある）

●運営主体：直営包括

ふれあいカフェ美和

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月16日	- 人	- 人	- 人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 直営包括職員	グループホーム 第二あま恵寿荘
5月21日	- 人	- 人	- 人		
6月18日	- 人	- 人	- 人		
7月16日	- 人	- 人	- 人		
8月20日	- 人	- 人	- 人		
9月17日	- 人	- 人	- 人		
10月15日	- 人	- 人	- 人		
11月19日	2 人	4 人	5 人		
12月17日	1 人	3 人	4 人		
1月21日	- 人	- 人	- 人		
2月18日	- 人	- 人	- 人		
合計	3 人	7 人	9 人		

※ 平成27年3月から毎月第3金曜日に実施

ふれあいカフェ甚目寺

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月13日	0 人	2 人	6 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員 社協職員 保険医療課職員	甚目寺総合福祉会館
5月11日	3 人	0 人	7 人		
6月8日	- 人	- 人	- 人		
7月13日	2 人	2 人	9 人		
8月10日	2 人	2 人	10 人		
9月14日	- 人	- 人	- 人		
10月12日	3 人	2 人	8 人		
11月9日	1 人	1 人	9 人		
12月14日	3 人	2 人	9 人		
1月11日	0 人	3 人	9 人		
2月8日	2 人	2 人	8 人		
合計	16 人	16 人	75 人		

※ 平成28年2月から毎月第2火曜日に実施

●運営主体：地域

直営包括が実施主体である2か所に加え、地域のコミュニティやボランティアを中心とした団体が実施している。カフェの終了後にはスタッフがカンファレンスを実施しており、運営開始初期から直営包括職員もカンファレンスに参加し、助言している。

ふれあいカフェあまちゃん中萱津

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月22日	1 人	2 人	9 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	コミュニティプラザ 萱津
5月27日	- 人	- 人	- 人		
6月24日	- 人	- 人	- 人		
7月15日	1 人	2 人	7 人		
8月26日	1 人	2 人	13 人		
9月24日	- 人	- 人	- 人		
10月28日	1 人	2 人	14 人		
11月25日	0 人	2 人	10 人		
12月23日	1 人	2 人	12 人		
1月27日	1 人	3 人	9 人		
2月24日	1 人	3 人	11 人		
合計	7 人	18 人	85 人		

※ 平成28年7月から毎月第4木曜日に実施

伊福ふれあいカフェ

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月22日	0 人	0 人	35 人	ボランティア 地域の方 介護保険事業所職員 配食事業者 直営包括職員	伊福集会所
5月27日	- 人	- 人	- 人		
6月24日	- 人	- 人	- 人		
7月29日	3 人	0 人	34 人		
8月26日	- 人	- 人	- 人		
9月30日	- 人	- 人	- 人		
10月28日	0 人	0 人	26 人		
11月25日	0 人	0 人	40 人		
12月23日	- 人	- 人	- 人		
1月27日	- 人	- 人	- 人		
2月24日	- 人	- 人	- 人		
合計	3 人	0 人	135 人		

※ 平成28年9月から毎月最終木曜日に実施

ふれあいカフェあまちゃん下萱津

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月26日	0 人	2 人	15 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	下萱津 コミュニティ 防災センター
5月24日	- 人	- 人	- 人		
6月28日	- 人	- 人	- 人		
7月26日	0 人	1 人	17 人		
8月23日	0 人	2 人	14 人		
9月27日	- 人	- 人	- 人		
10月25日	0 人	1 人	15 人		
11月22日	0 人	1 人	11 人		
12月27日	0 人	1 人	13 人		
1月24日	1 人	3 人	16 人		
2月28日	1 人	2 人	12 人		
合計	2 人	13 人	113 人		

※ 平成29年4月から毎月第4月曜日に実施

ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月13日	0 人	0 人	11 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	甚目寺公民館
5月11日	0 人	0 人	18 人		
6月8日	- 人	- 人	- 人		
7月13日	1 人	0 人	16 人		
8月10日	1 人	0 人	16 人		
9月14日	- 人	- 人	- 人		
10月12日	0 人	0 人	9 人		
11月9日	0 人	0 人	12 人		
12月14日	0 人	2 人	7 人		
1月11日	0 人	0 人	13 人		
2月8日	1 人	0 人	12 人		
合計	3 人	2 人	114 人		

※ 平成31年4月から毎月第2火曜日に実施

ふれあいカフェJAなの花の会甚目寺

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
6月4日	- 人	- 人	- 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	JA海部東 甚目寺支店
7月2日	- 人	- 人	- 人		
8月6日	- 人	- 人	- 人		
9月3日	- 人	- 人	- 人		
10月1日	- 人	- 人	- 人		
11月5日	0 人	1 人	11 人		
12月3日	0 人	0 人	8 人		
1月7日	0 人	1 人	7 人		
2月4日	0 人	2 人	6 人		
合計	0 人	4 人	32 人		

※ 平成31年4月から毎月第1金曜日に実施

ふれあいカフェJAなの花の会美和（全て中止）

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月12日	－ 人	－ 人	－ 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	JA海部東 美和支店
6月12日	－ 人	－ 人	－ 人		
10月11日	－ 人	－ 人	－ 人		
12月13日	－ 人	－ 人	－ 人		
2月14日	－ 人	－ 人	－ 人		
合計	0 人	0 人	0 人		

※ 平成31年4月から偶数月の第2月曜日に実施

ふれあいカフェ新居屋

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月19日	0 人	0 人	12 人	ボランティア 地域の方 直営包括職員	新居屋憩の家
5月17日	－ 人	－ 人	－ 人		
6月21日	－ 人	－ 人	－ 人		
7月12日	－ 人	－ 人	－ 人		
8月16日	－ 人	－ 人	－ 人		
9月13日	－ 人	－ 人	－ 人		
10月18日	0 人	0 人	14 人		
11月15日	0 人	0 人	14 人		
12月20日	0 人	0 人	12 人		
1月17日	0 人	0 人	10 人		
2月21日	0 人	0 人	9 人		
合計	0 人	0 人	71 人		

※ 令和元年10月から毎月第3月曜日に実施

ご近所カフェポップ

令和4年2月末現在

日程	認知症の方	家族	その他	その他内訳	場所
4月10日	－ 人	－ 人	－ 人	グループホーム利用者 ボランティア 地域の方 直営包括職員	グループホームポプラ
5月8日	－ 人	－ 人	－ 人		
6月12日	－ 人	－ 人	－ 人		
7月10日	9 人	0 人	9 人		
8月14日	－ 人	－ 人	－ 人		
9月11日	－ 人	－ 人	－ 人		
10月9日	7 人	0 人	10 人		
11月13日	6 人	0 人	11 人		
12月11日	8 人	0 人	12 人		
1月15日	8 人	0 人	8 人		
2月12日	－ 人	－ 人	－ 人		
合計	38 人	0 人	50 人		

※ 令和2年1月から毎月第2土曜日に実施

(4) ふれあいカフェ交流会

ふれあいカフェを運営している各カフェのスタッフが集まり、情報交換や交流を行った。各カフェ代表者による新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き、カフェを再開した時期における気づきや工夫の情報・意見交換をした。

日程	内容	参加者・通知者
7月16日	運営スタッフの懇談と意見交換	各カフェのスタッフ18名参加
3月10日	運営スタッフの懇談と意見交換	25名参加予定→中止

(5) 認知症対策啓発PR動画の作成

- ・認知症施策として展開している認知症ふれあいカフェの増加を図るため、また認知症サポーター養成講座・認知症予防講座をはじめ、事業の理解と活用を促進するために作成した。
- ・作成した動画は認知症サポーター養成講座の教材として活用した。対象を幅広く周知するために庁舎内で一定期間放映した。
- ・ウェブサイトやICTの掲示板への掲載、DVDの貸し出しにて市民や医療・介護関係者に周知した。

(6) 認知症講演会

日程	内容	場所	参加人数
8月13日	講演会：「認知症になっても前を向く」 「認知症の方の社会参加」 講師：認知症当事者 近藤 葉子 氏 認知症対応型通所介護「とんと」 OHANA管理者 認定作業療法士 伊藤 篤史 氏	美和文化会館 大ホール	155 人

・認知症の当事者である近藤葉子氏は、県から「認知症希望大使」に任命されており、当事者からの発信を通して、認知症に対する理解が広がることが期待されている。近藤葉子氏が通うデイサービスの管理者、伊藤篤史氏との対話形式によって行われた講演では、「当事者の言葉は心に響いた」「前向きな生き方に希望が持てた」など参加者から多くの反響があった。

10 任意事業

(1) 高齢者地域見守り協力に関する協定

地域における高齢者の異変を発見した場合に、市へ通報することで安心して生活できる見守り体制の構築を目的に、あま市内を業務範囲とする以下の事業者と協定を締結し、ネットワークづくりを推進している。協定を締結した事業者には、その証しとして見守りステッカーを配付している。

さらに、協定締結事業者には、認知症サポーター養成講座への参加を促している。

協定締結事業者一覧（※は閉店により締結終了）

●新聞販売店（14事業所 H25.10.17～R3.8.30締結）

朝日新聞 ASA甚目寺
有限会社 リブ ※
有限会社 加藤新聞店
有限会社 赤羽新聞店
株式会社 タケダ
中日新聞 甚目寺西部専売所
中日新聞美和正則専売店 日比野新聞店
株式会社七宝ニュース・アド
有限会社前田新聞舗→株式会社中日販売研修センター木田専売店 →中日新聞木田専売店あんど新聞店
中日新聞青塚専売所 山田新聞店
読売センター美和・七宝
読売センター清須

・現在は11事業所と締結

●ライフライン（52事業所 H26.8.20締結）

名古屋市上下水道局 中村営業所
中部電力株式会社 中村営業所
中部電力株式会社 津島営業所
東邦ガス株式会社 美和サービスセンター
一般社団法人愛知県LPガス協会 西部支部海部北分会48事業所

●金融機関等（18事業所 H26.2.25締結）

株式会社大垣共立銀行 甚目寺支店
株式会社大垣共立銀行 七宝支店
株式会社十六銀行 美和支店
株式会社名古屋銀行 甚目寺支店
岐阜信用金庫 美和支店
愛知信用金庫 七宝支店
いちい信用金庫 甚目寺支店
いちい信用金庫 美和支店 ※
いちい信用金庫 七宝支店
中日信用金庫 甚目寺支店
海部東農業協同組合 甚目寺支店
海部東農業協同組合 七宝支店
海部東農業協同組合 伊福支店
海部東農業協同組合 美和支店
日本郵便株式会社 甚目寺郵便局
日本郵便株式会社 蟹江郵便局
日本郵便株式会社 美和郵便局
日本郵便株式会社 津島郵便局

・現在は17事業所と締結

●配食・宅配事業者（11事業所 H27. 8. 24～R2. 12. 7締結）

さくら配食サービス 中川・港事業所
株式会社ショクブン あま営業所
そうざいや かとう
宅配クック123 尾張西店
有限会社デルチ ハニーズキッチン
有限会社 双葉
合同会社 SHAO-RON
ワタミフードシステムズ株式会社 愛知あま稲沢営業所
一宮生活協同組合 稲沢センター
生活協同組合コープあいち 海部センター
配食のふれ愛 あま店

●薬局・ドラッグストア（22事業所 H29. 9. 29～R3. 2. 25締結）

クリエイトエス・ディー 愛知甚目寺店
ゲンキー株式会社 新居屋西店
ゲンキー株式会社 あま七宝店
株式会社 サンドラッグ 甚目寺森店
株式会社 サンドラッグ 美和店
株式会社 サンドラッグ 七宝店
スギドラッグ 甚目寺森店
スギドラッグ 美和店
スギ薬局 七宝店
株式会社ツジ薬局 本郷店
日の丸薬局
マツモトキヨシ 甚目寺店
株式会社 ミワドラッグ
明治堂薬品 ヨシツヤ甚目寺店
B&Dドラッグストア 七宝店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺西店
株式会社 中部薬品 V・drug 甚目寺南店
株式会社 中部薬品 V・drug 七宝店
株式会社 クスリのアオキ 甚目寺森店
株式会社 クスリのアオキ 小路店
株式会社 1カファミシ - ドラッグ1カ あま甚目寺店

●生鮮食料品店（16事業所 H28. 8. 23～R3. 3. 16締結）

株式会社アオキスーパー 甚目寺店
株式会社魚太 スーパーうおた
株式会社コノミヤ 甚目寺店
田中精肉店
株式会社トミダ ナフコ 木田店
株式会社トミダ ナフコ 七宝店
馬場商店
林青果 合資会社
バラエティーミートスズキ
株式会社ヒバリヤ 美和店 ※
株式会社フィールコーポレーションEQVo!カニエ店※
ベルズ七宝 ※
マルイチ商店
ユニ株式会社ピアゴ 甚目寺店
株式会社ワイストア Yストア甚目寺店
株式会社ワイストア Yストア篠田店

・現在は13事業所と締結

●その他の業種

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 (H30. 2. 27締結)
総合警備保障株式会社 尾張支社 (R2. 12. 1締結)
株式会社出雲殿互助会 (R3. 5. 24締結)
明治安田生命保険相互会社 (R3. 6. 24締結)

* 通報件数

令和4年2月末現在

業種	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新聞販売店	2 件	5 件	7 件
金融機関等	0 件	0 件	0 件
ライフライン	1 件	0 件	0 件
配食・宅配事業者	1 件	1 件	0 件
生鮮食料品店	0 件	0 件	0 件
薬局・ドラッグストア	0 件	0 件	0 件
その他の業種	0 件	0 件	0 件
合計	4 件	6 件	7 件

(2) キャラバンメイト連絡会

キャラバンメイトに認知症の理解を深めてもらうため、登録者同士の交流及び情報交換を行うことで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。

回数	日程	内容	場所	参加人数
第1回	5月7日	昨年度実績報告 今年度の計画について懇談・意見交換 ふれあいケアパスについて、高齢福祉事業の紹介等	甚目寺公民館	13人
第2回	10月14日	認知症サポーター養成講座実績報告、後半の計画・担当確認、権利擁護センターについて、心をつなぐノート(エンディングノート)の活用について	甚目寺総合福祉会館	16人

(3) 認知症見守り協力者学習会

認知症サポーター養成講座を受講された方で、地域の見守りに関する活動等にご登録いただいた方(以下「見守り協力者」という。)を対象にステップアップ講座としての学習会や講演会を行った。見守り協力者には地域の中で認知症が疑われる方への声掛けや、見守りに関するボランティア活動、また、ふれあいカフェやサロンなどの集いの場へ参加していただくこと等が期待される。

回数	日程	内容	場所	参加人数
第1回	8月13日	認知症講演会 演題:「認知症になっても前を向く」 「認知症の方の社会参加」 講師:認知症当事者 近藤葉子 氏 「とんと」JOHANA管理者 伊藤篤史 氏	美和文化会館 大ホール	25人
第2回	12月8日	認知症見守り協力者学習会 認知症の方の対応方法をロールプレイを通じて学ぶ	甚目寺公民館	29人
第3回	1月28日	県主催:認知症サポーターステップアップ研修会 (オンライン開催)	甚目寺庁舎	6人
第4回	3月4日 (2月4日を延期) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	認知症見守り協力者学習会 演題:「認知症サポーターとして考えること・できること」 講師:医療法人幸会 老人保健施設みず里 サービス統括部長 齊藤 妙子 氏	甚目寺公民館	—

* 登録者数 93人 (R4年2月末時点)

(4) 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターを地域で養成することで、認知症の正しい知識を持ち、本人や家族を地域で支え合う輪を広げていく。平成26年度から毎年市内全中学校1年生に対し行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止した。そのため、今年度は昨年度未受講の学年を中心に実施した。

* 認知症サポーター養成人数

令和4年2月末現在

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度	令和3年度
人数	1,705 人	1,477 人	1,768 人	1,473 人	1,349 人	214 人	1,037 人
累積人数	5,023 人	6,500 人	8,268 人	9,741 人	11,090 人	11,304 人	12,341 人

令和4年2月末現在

日程	対象者	場所	参加人数
4月14日	あま市新規採用職員	あま市役所本庁舎	23 人
6月6日	七宝中学校(1・2年生)	七宝中学校	290 人
6月24日	七宝北中学校(2年生)	七宝北中学校	45 人
11月5日	甚目寺南中学校(2年生)	甚目寺南中学校	205 人
11月10日	甚目寺中学校(2年生)	甚目寺中学校	183 人
1月12日	美和中学校(2年生)	美和中学校	230 人
1月14日			
1月15日	一般市民	甚目寺公民館	39 人
1月20日	サービス事業者連絡会	甚目寺総合福祉会館	22 人
合 計			1,037 人

(5) 認知症予防講座

認知症予防の正しい知識と自宅で継続可能な運動や脳トレーニング等を紹介している。

令和4年2月末現在

日程	対象者	場所	参加人数
6月30日	宝寿会 老人クラブ 友愛活動部研修会	七宝焼アートヴィレッジ	26 人
7月14日	宝寿会 女性の会	七宝焼アートヴィレッジ	29 人
10月21日	遠島老人クラブ	遠島公民館	34 人
10月27日	上萱津いきいきサロン	上萱津コミュニティ防災センター	32 人
11月12日	あまちゃんのいきいきサロン下萱津	下萱津コミュニティ防災センター	17 人
11月17日	いきいきサロン安松	安松集会場	23 人
合 計			161 人

(6) 介護者のつどい

介護にたずさわっている家族等が介護者同士の交流や情報交換を通じて、精神的な負担の軽減や孤立を防ぐことを目的とする。

令和4年2月末現在

日 程	場 所	参加人数		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
毎月第4月曜日	甚目寺総合福祉会館	30人	15人	29人
奇数月第1月曜日	七宝老人福祉センター	6人	5人	6人
偶数月第1月曜日	美和総合福祉センター すみれの里	46人	12人	35人
合 計		82人	32人	70人

※コロナ禍における緊急事態宣言により、福祉施設閉館となり甚目寺10回、七宝5回、美和5回の開催となった。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の間は、電話等で介護の状況や健康状態などを聞き取り孤立による介護疲れに至らないように支援した。
- ・参加者に安心カードを配付した。

1 1 介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

- ・介護認定を受けていない70歳以上の高齢者を対象にアンケートを実施し、要支援・要介護状態となるおそれがある高齢者の早期発見・早期対応を行う。
- ・身体機能、認知機能の低下が疑われた方には介護予防教室等に繋げている。

令和4年2月末現在

年度	シニアいきいきアンケート		
	発送	返送	回収率
令和元年度	14,084 人	12,222 人	87.2%
令和2年度	14,567 人	12,890 人	88.5%
令和3年度	14,809 人	13,048 人	88.1%

- ・シニアいきいきアンケートの該当項目の抽出により8(1)認知症初期集中支援推進事業において、67名に対して電話や訪問を実施し、61名に相談支援等を行った。
- ・シニアいきいきアンケート未返信者のうち医療・健診未受診者には12高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において保険医療課職員と直営包括職員とで訪問実施。

(2) 一般介護予防事業

令和4年2月末現在

事業名	実施回数	事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康相談※	年38回	保健師による血圧測定・個別相談	307人	62人(13回)	46人(25回)
はつらつクラブ※	8か所 年12回	軽体操・ストレッチ・レクリエーション・合唱・音読・健康チェックなど口腔機能・低栄養予防についての講話	817人	126人(24回)	260人(39回)
ワクワクからだ教室※	3か所 年12回	転倒・骨折予防のための体操、健康チェック	791人 筋力アップクラブ	104人(12回) 筋力アップクラブ	154人(26回)
低栄養予防教室※	年3回	調理実習と交流会	46人	中止	サンプル提供説明 5人(2回)
口腔ケアリーフレット配布	高齢者世帯 実態調査 把握訪問時	口腔ケア・運動習慣等の必要性についての周知・啓発	10,940人	10,423人	10,968人
出前講座	随時	サロン等で保健師・歯科衛生士・管理栄養士による運動・口腔・栄養に関する講話や体操など	260人	20人(1回)	107人(5回)

※()内は実施回数(コロナにより中止回があった)

(3) その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急の外出を制限される中、生活不活発によるフレイルリスクが高まっている。そのため、室内でもできる自作の体操リーフレット(はじめてみよう!!だれでもできる簡単体操室内編2)をふれあいカフェ、サロン及び認知症予防講座等で配付した。

1 2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するよう国の方針が示され、あま市においても取り組んでいる。

(1) 健康状態不明者対策（ハイリスクアプローチ）

健康状態が不明な方を対象に保険医療課職員及び直営包括職員にて個別訪問を実施し、健康状態の確認や必要に応じた健診・医療・介護サービスの受診勧奨等を行った。

実施時期	対象者	訪問前に状況確認できた者	訪問実施人数			
			面談実施	不在	居所不明	
7月	27人	6人	21人	14人	6人	1人
11月	58人	1人	57人	27人	21人	9人

↓

訪問時の状況		
受診勧奨	健康相談	継続支援
41人	41人	2人

(2) 笑って元気スクール（ポピュレーションアプローチ）

通いの場等において、本市の健康課題である口腔・栄養・認知症・転倒骨折予防に関するフレイル予防教室を実施し、教室終了後も住民が自主的にフレイル予防を継続できるよう取り組んだ。教室の実施に当たっては保険医療課職員・健康推進課職員・直営包括職員・あま市民病院職員（理学療法士、作業療法士）が共同で実施した。

実施場所 (サロン実施時間) スクール実施時間	実施日			
あまちゃんのいきいきサロン下萱津 (13時～15時) 13時～14時	8月12日 15人	9月12日 中止	10月8日 13人	11月12日 12人
中橋ひろば (13時～17時) 13時～14時	11月10日 21人	12月10日 15人	2月10日 中止	3月10日 中止
いきいきサロン沖之島 (10時～11時30分) 10時15分～11時15分	11月24日 25人	1月26日 中止	2月16日 中止	3月30日 予定

◎総合評価

●昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から自粛生活が余儀なくされ住民の地域活動も中止が相次いでいる。医療や介護の現場でも感染症対策に職員が時間を要するため、その他の対応に余裕がない状況が続いている。そのため、地域包括ケアシステムの深化推進という意味では難しい状況ではあるが、地域の中での繋がりや多職種間での連携は以前よりも必要性を感じている。今年度はワクチン接種が進んでいることもあり、感染症対策を講じながら事業を実施することができた。そのため、介護者のつどい、ふれあいカフェ、認知症サポーター養成講座、認知症予防講座は昨年度より多くの住民に参加してもらうことができた。さらに、今年度は認知症講演会に認知症希望大使の近藤葉子氏を講師として招き、市民に認知症に関する知識や本人への支援についてより一層考えてもらう機会を設けることができた。関係機関との連携については、昨年度実施できなかった地域ケア会議を実施することで、コロナ禍における高齢者支援の課題について共有することができた。さらに、「海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（通称あまさぼ）」の作成した「心をつなぐノート」によりACP（アドバンス・ケア・プランニング）の周知に協力した。自粛生活が長く続き、家族間や近隣住民との交流が減少する中、高齢者見守り協力の協定を締結している事業者の見守りにより、適切な支援につながったケースもあり、今後も事業者とのネットワークづくりに取り組んでいく必要がある。高齢者の介護予防に関しては、地域包括支援センターだけでなく健康推進課や保険医療課といった他部署とも合同で事業を展開していくことで、多角的にアプローチできている。権利擁護についても、今年度4月に権利擁護センターが開設され、成年後見制度の利用について専門家と相談しながら進めていくことができた。今後も関係機関や地域住民及び企業等とも連携しながら「誰もが健やかに安心していきいきと暮らせるまちづくり」を推進していく。

●健康推進課の予防事業は、高齢者健康増進事業として高齢者全般に向けた事業を修正・展開してきたところである。高齢者の健康づくり、健康寿命の延伸を目的とし、運動・口腔・栄養の視点を軸とし、参加者一人ひとりが自分の身体・健康を知ることができる場となっている。さらには、高齢者の閉じこもりを防止するための一つになっている。昨年度まで筋力アップクラブとして行っていた事業を、新たな講師を迎えワクワクからだ教室と改名し、模型や解説図を利用しながら分かりやすく体の動きを説明する教室として開始した。低栄養教室は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から調理実習は行わず、サンプルを見せ説明を行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされ、参加数が減少したが、新型コロナウイルスワクチン集団予防接種会場や出前講座でフレイル予防やロコモティブシンドローム予防の啓発とともに、教室の紹介や健康づくりに取り組むことの声かけをしている。

また、民生委員・児童委員の協力により高齢者世帯の実態調査訪問時に、オーラルフレイル予防の口腔ケアリーフレットを配布し、閉じこもりがちな高齢者にも広く周知されるよう啓発を行い、高齢者の健康増進に取り組んでいる。相談等があれば、保健センターの紹介もしてもらうようにしている。